

宇部工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	保健体育IV
科目基礎情報				
科目番号	0041	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	4	
教科書/教材				
担当教員	伊藤 耕作, 日高 真理			

到達目標

- (1) 各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。
- (2) グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。
- (3) 活動中、自分の安全に留意して行動することができる。

ルールブック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安
評価項目1	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、練習、試合運営へと主体的に発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を部分的に受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立てることができず、練習、試合へと発展させることができない。
評価項目2	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動をリードすることができる。	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に主体的に貢献することができる。	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。	グループの中での自分の役割を自覚できず、グループ活動に貢献することができない。
評価項目3	活動中、グループ全体の安全に留意して行動することができる。	活動中、自分や仲間、の安全に留意して行動することができる。	活動中、自分の安全に留意して行動することができる。	活動中、安全に留意して行動することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育目標 (H)	
----------	--

教育方法等

概要	高学年の授業では、学生自ら企画する学生発案型授業を取り入れる。これは毎時の授業を5名程度のメンバーが担当し、チームが企画した内容を90分間授業実践するというものである。評価は受講者による他者評価とし、企画力（①企画内容に新規性がある、②企画内容は適切である）と運営力（③企画の展開に無理がなく合理的である、④企画の運営力は適切である）を5段階評価（各20点×4項目）し、得られた得点を各自の成績評価に反映させる。
授業の進め方・方法	
注意点	・欠席、遅刻、早退、見学は減点する。 ・欠席した場合、翌週の授業までにレポート課題を提出すれば評価する。 ・体操服や運動靴を忘れたら見学扱いとする。 ・授業中の不正行為（携帯やスマホの使用など）は減点する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	学生発案型授業①	(1) 各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。 (2) グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。 (3) 活動中、自分の安全に留意して行動することができる。
		2週	学生発案型授業②	
		3週	学生発案型授業③	
		4週	学生発案型授業④	
		5週	学生発案型授業⑤	
		6週	学生発案型授業⑥	
		7週	学生発案型授業⑦	
		8週	学生発案型授業⑧	
	4thQ	9週	学生発案型授業⑨	
		10週	学生発案型授業⑩	
		11週	学生発案型授業⑪	
		12週	学生発案型授業⑫	
		13週	学生発案型授業⑬	
		14週	学生発案型授業⑭	
		15週	学生発案型授業⑮	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	0	0	0	0	0	0	0
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	0	0	0	0	0	0	0
汎用的技能【コミュニケーションスキル】	0	0	0	0	0	40	40
態度・志向性（人間力）【主体性、チームワーク力、リーダーシップ】	0	0	0	0	0	60	60
総合的な学習経験と創造的思考力【】	0	0	0	0	0	0	0